

＝30年度の活動＝

6月 駒っこフェス
in 南小

※子どもたちに甘～いチャと
スパイシーなお菓子を



第1回
「こまがね大使村まつり」
ブース出展

8月 第3回『民際』交流会

※ポカラ市長以下13名来駒（ふるさとの家）



9月

JPP 本邦研修 第4回『民際』交流会

※ポカラ市副市長、保健課長、小児科医 3名来駒

10月

「世界でいちばん美しい村」上映会（飯島）
「こまがね国際広場」ブース出展



11月

ポカラ市友好親善訪問
母子友好病院内「駒ヶ根ルーム」
開所式に参加

※ポカラ母子友好病院に2階が出来ました
ポカラ市役所にあった「駒ヶ根ルーム」が
この2階に移設され、懐かしい写真なども
展示されています。交流の場、研修の場と
して活用されそうです。



ネパールの風 第2号

2019年7月 発行責任者 小松原繁樹

ネパール交流市民の会の総会もこの6月で21回を数えることになりました。トカルパの灯の活動、中学生派遣事業、青年会議所によるネパール人招聘事業、市職員の調整員・隊員としての派遣などの活動の積み重ねにより、ポカラ市民との様々な交流を図り、親交を深めて参りました。

2015年から取り組んでおります JICA 草の根協力事業は、ポカラ市の母子友好病院を拠点に継続され、母子保健においてポカラ市からも素晴らしい成果を上げてきたことを認められています。この事業も来年3月には、区切りを迎えようとしております。

ポカラ市の訪問団、草の根の研修員を迎えての交流会では、ネパール派遣中学生が中心になり心のこもったおもてなしが行われ、参加者も大いに楽しんでいただいております。「民と民の交流＝民際」を通して、様々な形でネパール国とポカラ市民とつながりを深め交流が続くことを願っております。<会長 小松原繁樹>



第4回『民際』交流会（駒ヶ根キャッセンター）
※赤中書道部のパフォーマンス、在住のネパール人も参加くださり、ティージの祭りにあわせて賑やかな会になりました。

～林まどか隊員のネパール報告～

「トカルパの風」

先日、およそ3年ぶりにシンドゥパルチョーク郡トカルパ村、カブレランチョーク郡サッピン村へ行ってきました。3年前と同じ地元出身のドライバーさんの運転する四輪駆動車は、朝方からの土砂降りの雨でぬかるみ荒れている道路の中、私たちを難なくトカルパへと運んでくれました。

新しく建てられた村の学校を案内していただき（写真1）同校の先生たちと教育分野の隊員との即席意見交換（という名の隊員の悩み相談会）会を持ちました。学校やその周りの建物がびっくりするくらい大きく立派になっていて、ちょっとびっくりしてしまっただけで、優しい村の先生たちは3年前と変わらず私たちを迎え入れてくれ、美しい風景が変わらずそこにありました。（写真2・3）

ポカラ市のように、中々気軽に行ける場所ではないけれど、初めてネパールを訪れた中学生の私を、曰く「（ネパール）中毒」にしてくれたこの村に、機会があればたくさんの方に訪れていただきたいと思います。



写真1



写真2



写真3

ポカラの赤ちゃんに毛糸の帽子を贈りましょう！

ポカラの母子友好病院で産まれた赤ちゃんとお母さんに、日本からの手作りの品をお祝いにお渡ししています。これまで六つ花や折り鶴などをプレゼントして来ました。

ネパールでは「頭を冷やさない」という習慣から、新生児にも毛糸の帽子を被せるということを知り、『ポカラの赤ちゃんに毛糸の帽子を贈りましょう！』と呼びかけたところ、伊南地区は勿論、信毎や公民館報に取り上げられたことで、帽子の輪が県内各地にも広まりました。

サークルや施設での取り組みもあり、昔を思い出しながら、100名近くの方が、家に居ながらネパールとのつながりを楽しんで下さっています。

飯島町やらまいか講座(石楠花苑)